



	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	その日の療育内容や気付き、次回への引継ぎなどを日報に記録することを徹底し、より良い療育の提供に繋がっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	個別支援計画に基づき、定期的にモニタリングを実施し、ニーズ・課題の見直しの必要性を日々の日報を通して判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインの総則の基本活動を複数、柔軟に組み合わせた支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	教室長または児童発達支援管理責任者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	主には、保護者様を通じての連絡調整となりますが、学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、お子様の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)をご協力頂き、適切に行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	医療的ケアが必要なお子様のご利用に備えて医療機関と連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	今後は必要に応じて、出来る限り、就学前に利用されていた施設へ情報共有・相互理解できるよう働きかけていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	できる限り担当者会議を行い就労支援事業所など各関係機関との連携をとれるようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関が企画・開催している研修に積極的に参加し、また訪問することで連携をとっていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%	事業所内での療育の質を高めることを重点的に取り組んできたため、なかなか交流ができておりませんが、今後、障害のないお子様との交流の機会を作っていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	(地域自立支援)協議会等の会議やイベントに参加できる機会があれば、積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎の際や電話、連絡帳、メール、LINEなどで日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	相談のあった保護者には積極的に行っています。また外部講師を招いたセミナーを年1回ほど企画し保護者の方にご参加いただきご家庭での支援に役立ててもらっています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	療育説明会での支援内容のご説明と同時に、ご契約前には運営規定並びに利用者負担について丁寧に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎の際や電話、連絡帳、メール、LINEなど様々なツールを用いて日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	25%	75%	今年度は保護者会を開催することができませんでしたが、今後は企画して保護者様にご参加して頂ける機会を作りたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	随時、電話・連絡帳・メール・LINE等で相談や申し入れについて対応の体制を整備しております。また、相談窓口を設けており、そのことは周知しています。相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月活動内容を載せた宝モノ通信を保護者向けに発行しています。その他にLINE、HP、ブログ、Facebook等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の管理についてご指摘を受けることがありました。今は個人情報はすべて職員スペースに保管し、不要な個人情報の書類はすぐにシュレッダーで破棄するようにして、個人情報の取り扱いに細心の注意を払います。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	子どもには視覚情報を多用して意思疎通できるようにしています。保護者との意思疎通ツールとしてLINEなどできるだけ視覚的に記憶・記録に残るツールの使用を心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	今年度は、地域の事業所様へ見学・体験をさせていただくイベントを実施しました。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。新型コロナ感染に伴い保護者様にもご理解とご協力をいただきました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	地震・火災に備え療育時間中に避難訓練を毎月行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	岸和田市が開催している虐待防止セミナー等に職員が参加し継続的に研修をしています。また、職員間でも研修を開いています、今後もセミナーに参加した職員を通して、スタッフにも内容が広く共有できるようにしていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する仕組みを構築しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に食物アレルギーの有無を把握し、主治医の指示書がある場合はそれに基づいた対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努めています。